

「北九州市立大学×ヤフー株式会社北九州センターコラボ企画」 課題解決型インターンシップを開催

本学が代表校となって展開している COC+事業（北九州・下関まなびとぴあ）は、「ヤフー株式会社北九州センター」とのコラボレーション企画として、課題解決型インターンシップをヤフー北九州センターの会社内で開催しました。“想像が溢れる創造の現場に！”をテーマに、以下に示す3日間（6月15日～6月17日）のプログラムが設けられ、当初の定員だった20人を超える23人の学生の皆さんが参加しました。学生にとって、未来社会において欠かせない情報に関する感覚を身に付ける、そして自由でオープンな雰囲気の情報系企業を肌で感じる機会でありました。

〔開催概要〕

日時：2018年6月15日（金）～6月17日（日）

会場：ヤフー株式会社 北九州センター

6月15日 Program.1 (16:00～18:30)

会社紹介 & 社内見学ツアー、卒業生とのセッション

6月16日 Program.2 (13:00～16:30)

情報発信のお作法 ～Yahoo! ニュース編集者によるワークショップ～

Topic①. 「価値が高い情報」とはどんなものか。

Topic②. 「伝わる見出し」の付け方

6月17日 Program.3 (10:00～15:30)

「ヤフーを通じた地域貢献」と「ヤフージャパンの改善」というWin-Winのアイデアを発掘

Topic①. 北九州の情報を、Yahoo!ニュースアプリで発信するには？

Topic②. 北九州の情報を「都道府県タブ」で発信するには？

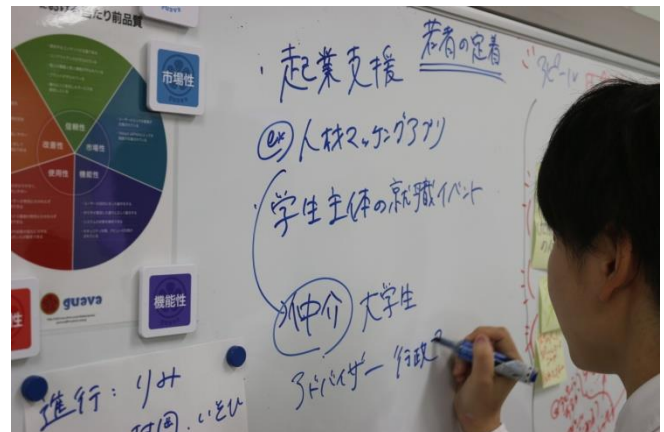


社内見学の様子

ヤフー株式会社北九州センターは、国内でも第2番目の規模を誇るヤフー拠点です。北九州の若者に対する認知度向上と情報技術を通じた地域貢献がしたいというヤフー側の想い、学生たちのキャリアアップや地域への関心度を高めたい、という北九州市立大学及びCOC+事業側の想い、その両方の目的が上昇効果を生み出した3日間でした。特に、ヤフー北九州センターで活躍している北九州市立大学出身の社員が学生のチューターとして各学生のチーム（6人ずつの4つのチーム）に参加してくださったこと。学生自ら北九州地域の課題を探索して、それに対する解決策を探るといふ課題解決型のワークショップであったこと。この2つの面は学生からも非常に良い評価をいただきました。ワークショップで導出された課題と解決策は、北九州市役所・ヤフー・地域戦略研究所の関係者の前でプレゼンテーションされて、有意義な議論が行なわれました。本内容は、ヤフー株式会社北九州センターの公式SNSにも公開されています。今後も北九州市立大学とヤフー株式会社北九州センターは、持続的に協力しながら学生の成長と地域の発展に力を尽くしていく予定です。



ヤフーニュース編集部によるワークショップ



地域課題解決型インターンシップに参加中の学生

北九州市立大学 地域戦略研究所 NewsLetter

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/

地域戦略研究所 研究報告会を開催しました

北九州市立大学地域戦略研究所では、北九州地域のさまざまな課題解決やこれからのまちづくりのあり方について、学術的な視座から調査研究を行い、その成果を報告する研究報告会を年1回開催しています。都市政策研究所から地域戦略研究所へと組織替えして以降、2018年度が第3回目の開催となります。

第3回研究報告会は2018年5月18日(金)14:00~16:30、北九州市小倉北区の西日本総合展示場新館(AIM)315会議室において、下記の内容について報告を行いました。一般市民の方・行政関係者・地元企業・学界の方等各方面から64名のご参加をいただきました。厚く御礼申し上げます。

■北九州における集客イベントの効果と展望(4)~ミニワールドスタジアム北九州オープン1年目の現況調査~

[地域戦略研究所 教授 南博]

■女子大生の就業及び生活意識に関する基礎的調査~地元定着に向けて~

[地域戦略研究所 教授 吉村英俊]

■学生の地域定着を促進する方策~学生・企業の意識から~

[地域戦略研究所 副所長・教授 内田晃]

■更生保護施設の現状と課題~女性専用施設を中心に

[地域戦略研究所 准教授 深谷裕]

■九州地方における立地適正化計画の策定に関する研究

[地域戦略研究所 准教授 小林敏樹]



カンボジア・プノンペンで 産業人材の育成体制を構築しています

カンボジアの産業の高度化及び多様化を図るためには、電気や道路といったインフラの整備に加え、「人材」の育成が不可欠です。現在、工場で働く従業員の多くは、時間や規律の遵守、チームワークなど、組織で働くための基本ができておらず、また工場や生産のことを知らないまま働いているため、向上心や改善意欲が希薄であるといわれています。当プロジェクトでは、プノンペンに立地する職業訓練大学と工業高校をモデル校として、ソフトスキルとものづくりの基本を教えるしくみを、JICAの草の根事業を活用して形成するものです。8月下旬には、先生方を北九州市に招聘して研修を行います。今回、この受入研修や1年間の活動計画などについて、関係機関と協議を行ってきました。

[吉村英俊教授]



地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録

【2018年4月～6月】

災害や地域の特性に対応した木造応急仮設住宅の

供給手法に関する研究 [内田晃教授]

科学研究費基盤(B)「災害や地域の特性に対応した木造応急仮設住宅の供給手法に関する研究」の一環で、2009年に発生したラクイラ大地震、及び2016年に発生したアマトリーチェ大地震の被災地を2018年4月17日から5日間の日程で訪問しました。ローマでは中央政府の機関である市民安全省で、大規模災害時の国レベルでの指揮命令系統などについてヒアリングを行うとともに、平常時の警察、消防、軍、沿岸警備隊、赤十字等の職員による組織横断的な監視体制を目の当たりにしました。イタリアでは倒壊した建物も、部材を集めなおし、ほぼ元通りに修繕するのが基本であるため、地震から10年近くたったラクイラ市も依然として復興半ばという状況でした。住宅の復興には相当な期間をかけて取り組まざるを得ないため、仮設住宅は10年以上住むことを前提としており、家具や家電製品はすべて揃い、収納も多く確保されるなど、日本のグレードとは全く異なっていました。防災・減災に向けた行政の姿勢、住民に寄り添った支援体制など、イタリア流の取り組みは今後の応急仮設住宅のあり方を考えるうえで大いに参考になりました。



ラクイラの仮設住宅

Jリーグスタジアム観戦者調査を実施

[南博教授]

北九州市立大学地域戦略研究所では、ギラヴァンツ北九州がJリーグに加盟した2010年以降、毎年、Jリーグからの受託研究としてスタジアム観戦者調査を実施協力者として実施しています(北九州独自の問も設けています)。

2018年は6月16日(土)にミクニワールドスタジアム北九州(北九州市小倉北区)で開催された2018明治安田生命J3リーグ第14節 ギラヴァンツ北九州 vs YSCC横浜において調査を実施し、426サンプルの有効回収を得ました。調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



調査の様子(写真中央が調査員)

日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」に関する公開講座を開催 [南博教授]

文化庁認定の日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶」を市民の皆様に分かりやすく解説する北九州市立大学公開講座「日本遺産『関門“ノスタルジック”海峡』を楽しむ」を5月12、19、26日、6月2日の4日間開催し、1日あたり四十数名の市民に御参加いただきました。

講座は地域戦略研究所の南博教授をコーディネーターとし、北九州市役所、下関市役所の文化財政策の担当者に毎回登壇いただきました。また5月26日にはフィールドワークを実施し、北九州市門司区の門司港駅(駅舎復元工事現場)、旧門司三井倶楽部、下関市の旧下関英国領事館、旧秋田商会ビルなどを見学しました。



旧下関英国領事館見学の様子

その他の主な活動記録

※各項目ごとに原則として主担当教員等(□表記)の五十音順に列挙

■ 地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等 (抜粋)

- 関門地域共同研究会 平成30年度第1回運営委員会(5/8:北九州市立大学)
- 第3回北九州市立大学地域戦略研究所研究報告会(5/18、西日本総合展示場新館)
- Jリーグスタジアム観戦者調査(6/16:ミクニワールドスタジアム北九州)[南]
- 地域中小企業の海外展開支援にかかる市場調査(4/20～24、ベトナム・ハイフォン)[吉村]
- 産業人材育成体制構築にかかる協議他(6/17～23、カンボジア・プノンペン)[吉村]

■ 講演等

- 貝島百合野山荘の活用を考えるシンポジウム・コーディネーター(4/14:マリーホール宮田)[内田]
- 北九州市立大学公開講座「日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」を楽しむ」(5～6月)[南]
- 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶」認定1周年記念イベント(4/22:シーモール下関)[南]
- 韓国国立釜山大学社会科学大学「日本に向けた就職に関する特講と懇談会」(5/23～24:韓国釜山国立大学)[柳]
- 韓国海洋コンテンツ融複合専門人力養成事業団第2回東アジア海洋人文ツアー特講「門司港の繁栄と現在」(6/23)[柳]

(前ページからの続き)

■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会 (開催された主なものを抜粋)

- 九州経済産業局・中小企業・小規模事業者の人材対策事業審査委員会(委員長)[柳井]
- 北九州観光コンベンション協会評議員会(委員長)[柳井]
- 北九州市特定空家等対策審査会(委員)[内田]
- 中間市まち・ひと・しごと創生有識者会議(会長)[内田]
- 芦屋港活性化委員会(委員長)[内田]
- みやこ町都市計画審議会(会長)[内田]
- 直方鞍手広域連携プロジェクト推進会議(顧問)[内田]
- 北九州市スポーツ推進審議会(副会長)[南]
- 北九州市都市計画審議会(座長)[柳井]
- 北九州市都市計画審議会(委員)[内田]
- 直方市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会(委員長)[内田]
- 中間市地域公共交通会議(委員)[内田]
- 遠賀町産業推進委員会(委員長)[内田]
- 築上町地域公共交通会議(会長)[内田]
- 遠賀中間広域連携プロジェクト推進会議(顧問)[内田]
- 大野城市総合計画審議会(副会長)[南]

■報道

- NHK、2018年6月4日、NHK北九州「ニュースブリッジ北九州」[小林]
- 毎日新聞、2018年4月23日、下関面「関門海峡 日本遺産1周年 記念イベントで祝う」[南]
- 毎日新聞、2018年4月24日、北九州面「北九州市立大の公開講座 日本遺産「関門」を学ぶ」[南]
- FM KITAQ、2018年4月27日・6月15日、「FORZA KITAQ」(17:00~18:00)[南]
- 毎日新聞、2018年5月8日、「くらしナビ・学ぶ面」@大学 ウチの教授「北九州市立大 南博さん 地域の課題解決を提案」[南]
- 毎日新聞、2018年5月29日、北九州面「ミクスタ来場「満足」62% 北九大・南教授 市民アンケ」[南]
- NHK、2018年5月31日、ニュースブリッジ北九州「市民調査「Jリーグより音楽を」」[南]
- 西日本新聞、2018年6月1日、北九州面「「弱いから観戦しない」2割 北九大の南教授 市民意識調査結果 ミクスタには高い評価」[南]

【告知】関門地域共同研究会 成果報告会を開催します

北九州市立大学地域戦略研究所と下関市立大学附属地域共創センターが共同で設立した「関門地域共同研究会」は、平成6年度から関門地域に関する様々な調査研究に取り組んでいます。昨年度(平成29年度)は、関門地域を取り巻く諸課題の中から、「人口減少」および「子どもの貧困」の2分野の研究を行い、3本の論文にとりまとめました。この度、その成果報告会を開催いたします。また、成果報告会においては研究報告に加え、シンポジウム「健康長寿と食生活のあり方」を開催いたします。長寿につながる食生活等について、それぞれの専門家が登壇し議論を深めます。具体的な案内については、地域戦略研究所のホームページにてご確認ください。

皆さまの御参加をお待ちしております。

■日時： 2018年7月13日(金) 14:00~16:45

■会場： 海峡メッセ下関 801大会議室

■プログラム：

14:00 開会

14:05~15:05 第1部 関門地域共同研究会 平成29年度研究報告

1) 産業構造の変化と人口増減の関係について~関門地域を事例として~

下関市立大学経済学部准教授 杉浦 勝章

2) 人口減少下における公共施設マネジメントのあり方について~先進事例からの示唆~

北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授 松永 裕己

3) 子どもの社会的排除に対する地方都市における取組み

北九州市立大学基盤教育センター准教授 坂本 毅啓

北九州市立大学非常勤講師 工藤 歩

15:05~15:15 休憩

15:15~16:45 第2部 シンポジウム「健康長寿と食生活のあり方」

16:45 閉会

■お申し込み・お問い合わせ： 地域戦略研究所 事務室 メール chiikiken@kitakyu-u.ac.jp